

超新型対決 3ℓターボはどっちを選ぶ!?

スーパRZとスカイライン400R
FSWで一騎打ち!!



<https://option.tokyo>

12

December
2019

Real Tune &
Exciting Car Magazine
オプション

OPTION
2019年12月号(毎月26日発売)
10月26日発売
第39巻第12号 通巻515号

特別
付録



クラス別
10種競技

OPT流

デカスロン

ホンネ出まくりの
乗り換え試乗実施!!



gram
LIGHTS
LIGHT WEIGHT CONCEPT
Custom Book



W-OPTION
ジャンボリー

読者のマシン
大解剖

W-OPTION
ジャンボリー
Grand Prix
Naoya Minowa



北海道発

4ローターペリも激走
余市の飛行場で
ゼロヨン大会!!

SR20DET

超精密
オーバーホール
大作戦!!



アクティブ・スカイライン復活計画
ワールドオプション[BMW E30・M3改]
ニスモを捨てたR35GT-R!!

web option
EXCITING CAR WEB MAGAZINE
<https://option.tokyo>



ZETA III vs ZETA IV

安全性を高めるベルトホールデザイン

ハンス装着時にベルト位置が適正でないと、ハンスを抑えることができません。本来の効果が得られなくなってしまう。そこで多くの体型をカバーできるように、ベルトホールを拡大。同時にシェル形状をリファインすることで、左右ハンスが狭いクルマにも対応するようなデザインを採用している。



待望のLOW MAX仕様に進化

これまでのゼータIIIではローマックスに対応していなかったが、新世代のゼータIVからはシェル形状を一新したことでローマックス仕様へ進化。また、シェル形状と素材を見直すことで15%の剛性アップと5%の軽量化を果たすことで、パフォーマンスパーツとしても選ばれる機能強化が図られている。



乗降による磨耗を防ぐレザー仕様

バックシートを装着すると乗り降りの際にサイドサポートを擦ってしまうのは形状的な問題点。そのため生地が擦り切れてしまうことも多く、時間経過とともにポロポロになったりしてしまう。そこで擦つてしまいがちなサイドサポートの上部にレザーを採用し、耐摩耗性をアップしていることも特徴のひとつ。



ZETA III ▶



15年ぶりの進化をチェック

設計工程から素材に至るまでを完全刷新！ 全く新しいフルバケの新機軸がついにデビュー

日本人の体型に合わせたメイド・イン・ジャパン・クオリティによって、多くのチューニングカーオーナーに支持されているブリッド・スーパーバケットシートシリーズのスタンダードモデルとして、長く親しまれてきたゼータIIIがこの秋に完全リニューアルを果たし、新たに「ゼータIV」となって11月1日に発売を開始するのだ。

これまでのゼータIIIはその完成度の高さから15年のロングセラーを記録。もちろん、現在でもその性能は軽量高剛性シェルによって日本人にぴったりフィットする抜群のホールド性を備え、一線級であることは間違いなく。しかし近年、新車投入されるクルマではフロア形状など車両設計が大きく変化し、さらに車内のスペースに制約が大きいため、車両に合わせたモディファイが必要になりつつあった。

そこで、現在のクルマに合わせてシェルの設計をリニューアルすると同時に、使用する素材やディテール

の機能向上を果たした新機軸へとスイッチすることとなったのだ。

新たなモデルの設計は最新の鋭いCADを利用し、日本人の標準体型でも身長170cm、体重65kgを想定。シェルデザインの最適化によってホールド性を高めながら、全体で15%の剛性アップと5%の軽量化を実現している。

また、臀部の形状を変更して体が沈み込むサブマリン現象を抑制するとともに、肩甲骨のフィット性を高めることで、安定したドライビングポジションを提供。シェルデザインだけでなく、背部ウレタンは背骨に沿ったステッチデザインに変更し、着座部のウレタンに発泡モールドを採用し、疲れにくい構造を追求しているのも特徴だ。

これらの設計変更に合わせて、ゼータIVから順次取り入れられる刷新

BRIDE ZETA IV

カラー：グラデーションロゴ、ブラック、レッド
サイズ：STD, XL
価格：9万2000円(ブラック、レッド/FRPシェル)
9万5000円(グラデーションロゴ/FRPシェル)
14万2000円(ブラック、レッド/アラミドシェル)
14万5000円(グラデーションロゴ/アラミドシェル)

部分がベルトホールデザイン。これまでのモデルでは体型によって適正位置にベルトがかけられないことも多く、さらにハンスを利用する際にはこのベルト位置問題が安全性にも直結する可能性もある。

そのため、多くの体型にジャストフィットするように、ベルトホールを拡大し、より安全かつ快適なモデルへと進化を果たしているのだ。

「今回のモデルチェンジは、ゼータIVとゼータIIIの2モデルを現在の車両設計にマッチするようにシェル設計から刷新しています。同時にホールド性を高めつつドライビングポジションの最適化や安全性に至るまで検証を重ね、まさに新世代のバケットシートに生まれ変わりました」

ブリッド 岩橋さん



ZEIGIV

カラー：グラデーションロゴ、ブラック、レッド
価格：10万5000円(ブラック、レッド/FRPシェル)
10万8000円(グラデーションロゴ/FRPシェル)
15万5000円(ブラック、レッド/アラミドシェル)
15万8000円(グラデーションロゴ/アラミドシェル)

抜群のホールド性そのままコンパクトにリファイン



シェル形状はゼータIV(写真左)よりも丸みを帯びた猫背形状となるため、より深い着座ポイントとなり大柄な体型でも目線位置を下げて座ることができる。ローポジションにこだわるならゼータIVがベストと言えるだろう。

ゼータIV(写真左)と比較するとサイドサポート形状はより深くなるため、ホールド性は大幅にアップしている。また肘部に干渉するポイントを削り込むことでよりコンパクトな設計が施されている。

ライターなベのインプレッション



デモカーのNDロードスターは、運転席に最新のゼータIV、助手席にはストラディアIIIを装着。ショルダー部の張り出しが若干コンパクトになった分だけ、NDロードスターにも余裕で装着できるようになっているのが分かる。これまでのゼータIIIと比べて、腰や背中への落着き具合は格段に向上されていることを体感。サポート部も適度な圧迫があるため支えられている感じが強く、コーナリング中の安定感も抜群。肩部の張り出し部はハンドルやシフト操作時にも気にならないから、ストリートでも十分に活躍してくれるはずだよ。



注目のNEW PARTS チェック!!

日本人の体型に合わせたメイド・イン・ジャパン・クオリティによって、多くのチューニングカーオーナーに支持されているブリッド・スーパーバケットシートシリーズのスタンダードモデルとして、長く親しまれてきたゼータIIIがこの秋に完全リニューアルを果たし、新たに「ゼータIV」となって11月1日に発売を開始するのだ。